

事例名	京都丹波ガイド ～仕事を減らして効果上げる～
チーム名 【所属名】	京都丹波チーム 【南丹広域振興局企画総務部企画振興室】
メンバー氏名	中村友也
アピールポイント	<p>アセッサー、所属長がこの取組のアピールポイントを記載してください。 ≪所属長: 南丹広域振興局企画振興室長 小谷充茂 ≫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・業務が増大する中で、スクラップ&ビルトではなく、ビルトしてスクラップ以上の効果を生み出すという発想が素晴らしい。 ・分かりやすい新たな方法により、京都丹波の魅力の発信と誘客を図れるものと期待している。 <p>≪アセッサー: 南丹広域振興局企画振興室 岩松義秀 ≫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・取組のプロセスが分かりやすく、事務量やコスト削減を数値で明確に表すなど業務改善内容が明確でわかりやすい。 ・次の展開として、広報の元となる地域資源の掘り起こしと「顧客」「ターゲット」のマーケティングなどを繋げる機能に期待。
取組の目的	この取組の目指すところ、あるべき姿、ゴールを記載してください。 京都丹波地域(亀岡市、南丹市、京丹波町)へより多くの人を呼び込むこと
取組のターゲット	この取組の「顧客」「ターゲット」はだれか、記載してください。 管外からの観光客や、地元住民
取組内容 プロセス	<p>取組内容とそのプロセスを具体的に記載してください。</p> <p><目的></p> <ol style="list-style-type: none"> ① 京都丹波に人を呼び込むため、イベントや観光・食の情報誌を平成 26 年度の 7 月から、紙媒体、電子媒体で共通のイベント情報誌を新たに創刊 ② これまで当室で発行していた魅力発信の様々なツールの見直しを図り、業務量やコストの負担を削減させる。 <p><概要></p> <ol style="list-style-type: none"> ① 紙媒体 2月に1度発行、A4・三つ折りリーフレット、10,000部を主要施設(道の駅、観光名所)、高速 PA などに設置 ② 電子媒体 HP に掲載し、既存のメルマガで月1回配信(登録者は約1,000人) <p><変更内容></p> <p>メルマガ ・月1回(年12回)メール配信 ・管外問わず管内のイベントを全て紹介</p> <p>HPの「地域力ごよみ」 ・月1回(年12回)振興局のHPに掲載 ・NPO等のイベント紹介</p> <p>南丹PT通信 ・年5回、NPO等団体へ配布 ・NPOの取組や行事(地域力ごよみ)を紹介</p> <p>ジョイントプログラム ・年1回、A3二つ折り、管内を中心に配架 ・秋の文化イベントを紹介</p> <p>新 京都丹波ガイド ガイドへのリンクを貼るだけにして発信 ・メルマガ ・HPの「地域力ごよみ」</p> <p>誌面縮小</p> <p>廃止</p> <p>※ウイの秋実行計画に準じる</p>
成果	この取組の成果を記載してください。 ○配付先の増加: 既存のメルマガ会員に加え、管内主要施設や PA 等で常時配架 ○事務量の削減(延べ61日)、コスト削減(-68万円)
工夫した点	どのような工夫によって成果につながったか記載してください。 業務・コストの削減を念頭に入れながら、今ある強み(メルマガ登録者)を活かしつつ、魅力発信をより強力に行えるよう工夫した。
今後の展開	今後、この取組をどのように発展させていくか記載してください。 管外での配架先の増加、市町・観光協会との PR 連携(HP でのリンク掲載など)